

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年3月15日(2007.3.15)

【公表番号】特表2006-518376(P2006-518376A)

【公表日】平成18年8月10日(2006.8.10)

【年通号数】公開・登録公報2006-031

【出願番号】特願2006-502807(P2006-502807)

【国際特許分類】

C 07 C 237/30	(2006.01)
C 07 C 231/12	(2006.01)
A 61 K 31/166	(2006.01)
A 61 P 29/00	(2006.01)
A 61 P 11/00	(2006.01)
A 61 P 19/02	(2006.01)
A 61 P 9/10	(2006.01)
C 07 B 53/00	(2006.01)

【F I】

C 07 C 237/30	C S P
C 07 C 231/12	
A 61 K 31/166	
A 61 P 29/00	1 0 1
A 61 P 11/00	
A 61 P 19/02	
A 61 P 9/10	
C 07 B 53/00	G
C 07 B 53/00	C

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月25日(2007.1.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0032

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0032】

本発明の化合物は、それらが薬理学的活性を有するという点で有益である。従って、それらは、リウマチ性関節炎、骨関節炎、乾癬、アレルギー性皮膚炎、喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、気道過敏症、敗血症ショック、糸球体腎炎、炎症性腸疾患、クローン病、潰瘍性大腸炎、アテローム硬化症、悪性細胞の成長と転移、筋芽細胞性白血病、糖尿病、アルツハイマー病、髄膜炎、骨粗鬆症、火傷、虚血性心疾患、卒中、静脈瘤、サルコイドーシス、鼻炎、急性疼痛および慢性疼痛、多発性硬化症、骨髄腫、悪性および炎症性および神経変性疾患に関連する骨減少、眼の疾患(例えば強膜炎、上強膜炎、ブドウ膜炎、シェーグレン症候群-乾性角結膜炎、強膜角膜炎、視神経炎、糖尿病性網膜症、網膜色素変性症、抗マラリア剤誘発網膜症)の処置に使用するための医薬として適応される。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0054

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 0 5 4 】

本発明は、さらに、本発明の化合物と、I型インシュリン様成長因子(I GF - 1)模倣薬との併用に関する。

本発明は、さらに、本発明の化合物と、ブレドニゾン、ブレドニゾロン、フルニソリド、トリアムシノロン アセトニド、ベクロメタゾン ジプロピオネート、ブデソニド、プロピオン酸フルチカゾン、およびフランカルボン酸モメタゾンを含む、吸入グルココルチコイドとの全身への副作用が軽い併用に関する。